

転出者アンケートの概要

蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略の検証にあたり、転出の理由等を把握し、子ども・子育て世代の定住を促す環境づくりに向けた基礎資料を得ることを目的に実施しました。

■調査方法

- 調査期間 平成28年11月1日から11月30日まで
 調査対象 転出者
 調査方法 市民課窓口にて、転出の手続きをされる方にアンケート用紙を配布。
 記入したアンケートを回収箱に投函していただく。

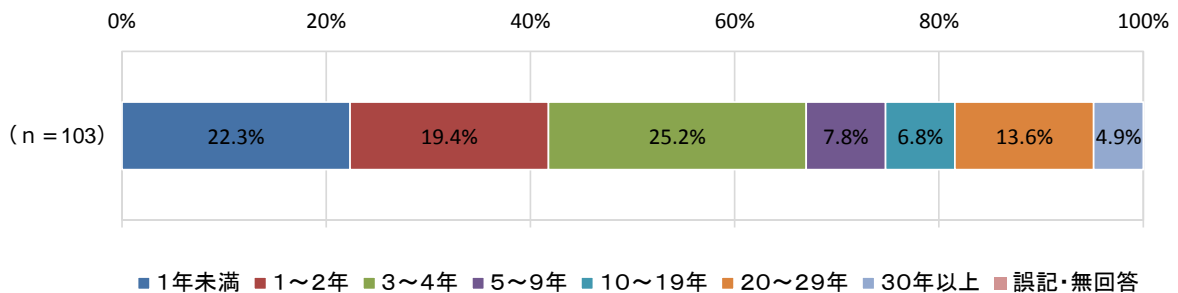
■主な調査項目

- ・蕨市での居住について ・転出先について ・転出者について ・住居について

■回収結果

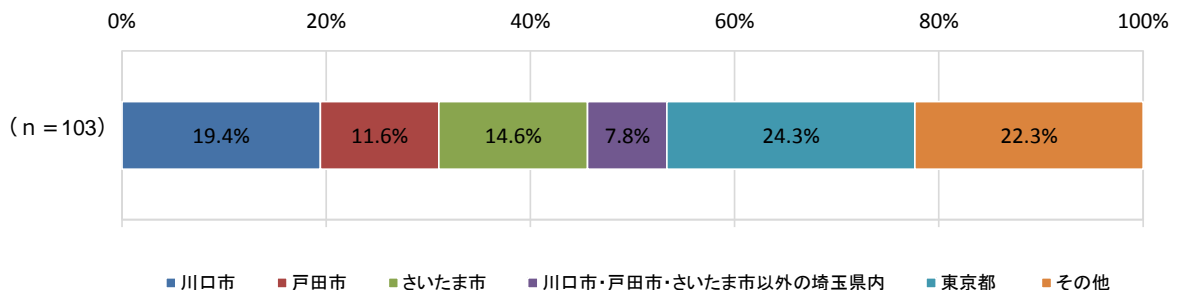
- 回収数 104票
 有効回答数 103票（白票1票）
 ※平成28年11月1日から11月30日までの転出者数：387人

【蕨市での居住年数】



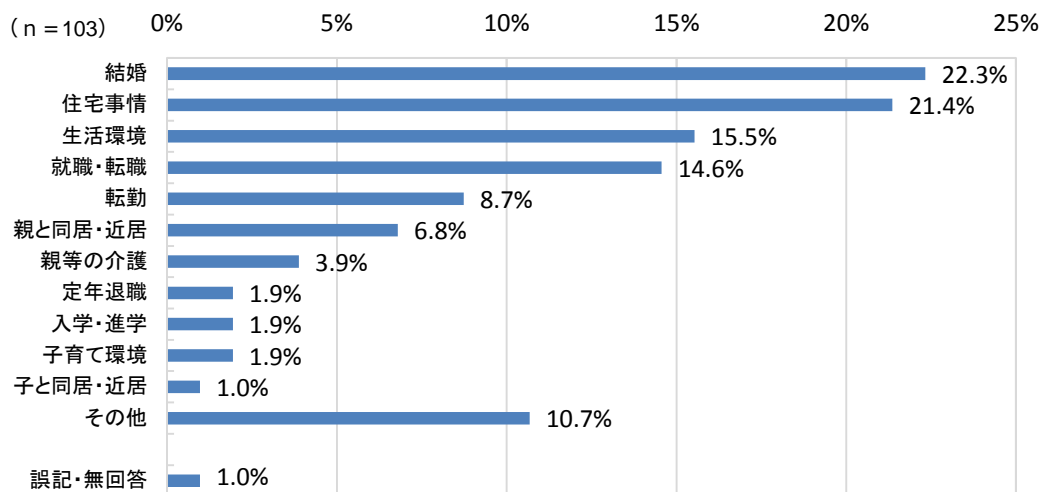
蕨市に何年住んでいたかをたずねたところ、「3～4年」が25.2%で最も多く、次いで「1年未満」が22.3%、「1～2年」が19.4%となっています。それらを合計した5年未満の割合が66.9%となっており、居住年数が比較的短い回答の割合が多くなっています。

【転出先自治体】



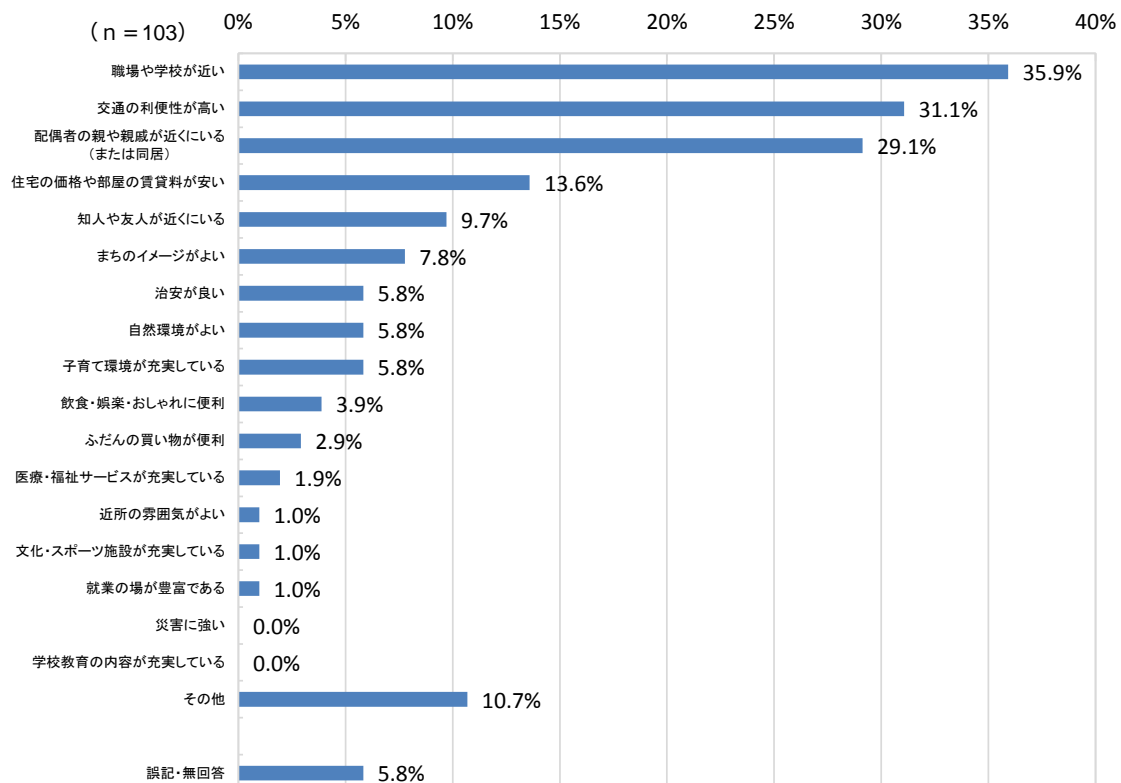
転出先についてたずねたところ、「川口市」が19.4%、「戸田市」が11.6%、「さいたま市」が14.6%となっており、隣接する「川口市」、「戸田市」、「さいたま市」の3市の合計で45.6%と約半分を占めています。また、「東京都」が24.3%で最も多くなっています。

【転出のきっかけとなった理由】 (○は2つまで)



転出のきっかけとなった理由についてたずねたところ、「結婚」が22.3%で最も多く、次いで「住宅事情」が21.4%、「生活環境」が15.5%となっています。また、「就職・転職」と「転勤」を合計した【仕事のため】をきっかけとする回答は23.3%、「親と同居・近居」、「親等の介護」、「子と同居・近居」の【家庭生活】をきっかけとする回答の合計が11.7%となっています。

【転出先を選んだ理由】 (○は3つまで)



転出先を選んだ理由についてたずねたところ、「職場や学校が近い」が35.9%で最も多く、次いで「交通の利便性が高い」が31.1%、「配偶者の親や親戚が近くにいる（または同居）」が29.1%となっています。